

当院に入院された患者さんの診療情報を用いた、 褥瘡の発生因子・予後因子を検討するための医学系研究に対する ご協力をお願い

研究・実務責任者 所属 皮膚科学教室 職名 専任講師

氏名 山上 淳

連絡先電話番号 03-5363-3823

このたび当院では、入院された患者さんの診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2005 年 1 月 1 日より 2018 年 12 月 31 日までの間に、慶應義塾大学病院に保険診療で入院した方

2 研究課題名

承認番号 20190167

研究課題名 褥瘡の発生因子・予後因子の包括的検討

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部皮膚科学教室・慶應義塾大学病院皮膚科

慶應義塾大学医学部形成外科学教室・慶應義塾大学病院形成外科

4 本研究の意義、目的、方法

< 意義と目的 >

褥瘡（とこずれ）の予防および治療に対して、限られた人的資源・資材などを効率よく使用するために発生予測は重要です。以前より臨床現場では、さまざまな評価方法で褥瘡の発生予測が行われてきましたが、実際の発生や予後と関連しているか、またどのように褥瘡の予防・治療・看護・介護などに活用されるべきかなど、継続的に見直していく必要があります。

本研究の目的は、褥瘡の発生因子および予後因子を包括的に検討することです。得られた結果を

もとに適切な予防介入が行われれば褥瘡発生を低減できるとともに、予後の予測をもとに効率的な治療方針を立てることができるようになります。

<方法>

今まで評価されてきた褥瘡発生予測ツールが、実際の褥瘡の発生や予後にどの程度相関しているかを検討します。また入院時に一般に行われる身体所見、検査所見など診療記録に含まれる情報の中で、今までに認識されていなかった褥瘡の発生因子および予後因子がないかを検討します。

5 協力をお願いする内容

診療記録の利用（褥瘡に関するアセスメント全般、および一般診療で実施される臨床検査、画像データ、記録された自覚症状、身体所見などの情報）

6 本研究の実施期間

研究実施許可日より 2024 年 3 月 31 日まで。

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した診療情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、外部機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学病院 褥瘡対策チーム 皮膚科学教室 助教 山上 淳

電話 03-5363-3823 / FAX 03-3351-6880

対応可能時間：平日 10～17 時

以上